

- tios from the Unzen volcanic area, Japan. *Geochem. Jour.*, **27**, 251-259.
- Kita, I., Nitta, K., Nagao, K., Taguchi, S. and Koga, A. (1993b): Difference in N_2/Ar ratio of magmatic gases from northeast and southwest Japan: New evidence for different states of plate subduction, *Geology*, **21**, 391-394.
- 北 逸郎・荒屋敷龍一・長谷川英尚・滝沢英夫・田口幸洋・長尾敏介・上田 晃(1993): 島弧の深部ガス特性—火山性気体と非火山性気体との比較研究, 1993年度日本地球化学会年会講演要旨集, 36-37.
- Kiyosu, Y. (1986): Variations in N_2/Ar and He/Ar ratios of gases from some volcanic areas in northeastern Japan: *Geochem. Jour.*, **19**, 275-281.
- Matsuo, S., Suzuki, M., and Mizutani, Y. (1978): Nitrogen to argon ratio in volcanic gases, in Alexander, E.C.Jr., and Ozima, M., eds., *Terrestrial rare gases*: Tokyo, Japan Science Society Press, p. 17-25.
- Mazor, E. (1977): Geothermal tracing with atmospheric and radiogenic noble gases: *Geothermics*, **5**, 21-36.
- Nagao, K., Takaoka, N., Matsuo, S., Mizutani, Y., and Matsubayashi, O. (1980): Change in rare gas composition of the fumarolic gases from the Showa-shinzan volcano: *Geochem. Jour.*, **14**, 139-143.
- Nagao, K., Takaoka, N., and Matsubayashi, O. (1981): Rare gas isotopic compositions in natural gases of Japan: *Earth Planet. Sci. Lett.*, **53**, 175-188.
- 中田節也・鎌田浩毅(1988): 島原半島南部に分布する玄武岩・安山岩類の成因関係, 火山, 第33巻, 273-289.
- Notsu, K., Arakawa, Y., and Kobayashi, T. (1990): Strontium isotopic characteristics of arc volcanic rocks at the initial stage of subduction in western, Japan: *Jour. Volc. Geotherm. Res.*, **40**, 181-196.
- Sano, Y., and Wakita, H. (1985): Geographical distribution of the $^3He/^4He$ ratios in Japan: Implications for arc tectonics and incipient magmatism: *Jour. Geophys. Res.*, **90**, 8729-8741.
- Sugimura, A., and Uyeda, S. (1973): Island arcs-Japan and its environs: Amsterdam, Elsevier, 247 p.
- 多田 堯(1985)沖繩トラフの拡大と九州地方の地殻変動(2), 地震, **38**, 1-12.
-
- KITA Itsuro (1995): Implication of magmatic N_2/Ar and $^3He/^4He$ ratios in strange state of plate subduction beneath the Beppu-Shimabara graben, Kyushu, Japan.

〈受付: 1994年11月18日〉

九州地域地質センター閉所のお知らせ

当所の九州地域地質センター(福岡市)は, 1995年4月1日付の地質調査所組織の一部改正により, 閉所いたしました。

同センターは, 1946年7月に設置された地下資源調査所(地質調査所の前身)福岡出張所に始まります。福岡出張所は, 第2次大戦中に熊本県山鹿市に疎開していた地下資源調査所の組織を引き継いでいました。その後, 1948年5月に地下資源調査所が「地質調査所」に改称して発足したのに伴い, その福岡出張所として設置され, 1949年9月に福岡支所, 1952年8月に福岡駐在員事務所, 1967年4月に九州出張所, 1988年10月に九州地域地質センターと改称して調査研究業務を継続してきました。

同センターでは, 九州地方に特徴的な地質や地下資源などの研究を精力的に実施してきました。とりわけ戦後間もない頃の炭田開発調査やその後のウラン(核燃料資源)調査, 鉄鋼原料(未利用鉄資源)調査, 天然ガス開発調査, ダム開発調査などは特筆すべき調査研究であります。このほか, 鉱物資源の研究として含銅

硫化鉄鉱床や珪砂鉱床, 粘土鉱床(セラミック原料資源)などの研究を行い, 最近では火山地質や火山岩の調査研究を実施し, 5万分の1地質図幅の調査研究にも協力してきました。

これらの調査研究の成果や研究過程で得られた地質・鉱床などの情報を基にして相談業務や技術指導にも対応し, 通商産業局や地方自治体などの行政機関の資源政策や地域開発に寄与してきました。

同センターのこの度の閉所にあたり, 戦後から約50年間の長きにわたって多くの方々よりお寄せいただいた御支援に対し, 誌面を借りて厚くお礼申し上げます。

なお, 同センターの所掌業務は, 本所及び大阪地域地質センターにおいて継続いたします。

本所地質相談所: TEL. 0298-54-3540

大阪地域地質センター*: TEL. 06-941-5377

*旧称: 近畿・中部地域地質センター(1995年4月1日名称変更)